

FMCに係る柔軟課金設定のための開発コスト等について

WG8-8

総務省

【前提条件】

- ・現状の多数業者間インタフェース等をそのまま使用し、FMC呼の識別として新たな事業者コードを付与
- ・課金レート等、多事業者間インターフェイスで使用している信号設定値は現行範囲内
- ・開発規模はノード装置の新規機能追加要素のみを対象

使用する番号 コスト内訳	新規060番号	080/090番号	備考
着信側が既存携帯事業者の場合の網改修コスト	<p>10数億円程度 (携帯事業者の平均概数)</p> <p>・新規060の場合は、これに加えて加入者データベース管理制御機能等の開発が必要。</p>	<p>10数億円程度 (携帯事業者の平均概数)</p>	<p>・端末在圏情報識別機能、FMC用事業者コード・柔軟課金レートの返信機能の開発に必要な費用の概算。</p>
発信網がNTT東西のPSTNの場合の発事業者としてのNTT東西の開発コスト	<p>・料金設定権が着事業者の場合は、開発要素はなく、データ設定作業等のみ。</p>		<p>・公衆電話からの選択中継を行う場合には、別途開発が必要。</p>
	<p>・料金設定権が発事業者の場合は、課金処理機能等の開発が必要。</p>		

<注>

- ・050番号、070番号についても同様の開発要素により実現可能。
- ・本資料中の概算コストは、平成18年2月現在の想定ネットワーク上における概略の検討であり、今後のネットワークの構成によっては、変更となる場合もある。
- ・PSTN開発コストにおいて、料金明細等の変更が必要な場合には料金系システムに大規模な変更が必要となる。